

平成27年度 第244回教育研究審議会議事要録

日時 平成28年3月22日(火) 13:30~15:00
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、柳井副学長、
大平外国語学部長、前田経済学部長、田中文学部長、二宮法学部長、眞鍋地域創生学群長、
龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、小野学生部長、田村大教務部長、
田島入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、
後藤評価室副室長

- 配布資料**
- 1 外国語学部中国学科長及び地域戦略研究所副所長の選考について
 - 2 特任教員の選考について
 - 3-1 学部長等業績評価の概要について
 - 3-2 学部長等について
 - 3-3 公立大学法人北九州市立大学学部長等業績評価規程
 - 4 地域創生学群の入学定員変更について(平成29年度入学者から適用)
 - 5 平成28年度各種委員会等の構成
 - 6-1 障害者差別解消法の施行に伴う対応について
 - 6-2 障害を理由とする差別の解消推進に関する公立大学法人北九州市立大学教職員対応規程の手引き
 - 6-3 障害学生(等)修学支援学内基準(ガイドライン)
 - 6-4 北九州市立大学における障害のある学生の修学支援等不服申立審議会実施要領
 - 7 大学院担当教員の資格審査結果について【報告】
 - 8 平成27年度 入試広報活動報告
 - 9 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の人事について

* 資料1のとおり、外国語学部中国学科長及び地域戦略研究所副所長の選考について提案。

- 外国語学部堀地明中国学科長から、平成28年度2学期より1年間、海外出張の予定がすでに入っており、平成28年3月31日付で辞任したい旨の辞任願が提出された。これを受け、後任として白石麻保教授を選考することとしたい。後任者の任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までとなる。
- 地域戦略研究所では平成28年度からCOC+事業が本格化するため、所長の所管事項が大幅に拡大することが予想される。そのため、現在欠員となっている副所長に内田晃教授を選考し、所長業務を補佐し事業の進捗を図る。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までとなる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 特任教員の選考について

* 資料2のとおり、地域共生教育センターの特任教員2名、まちなかESDセンターの特任教員3名、大学教育再生加速プログラム推進室の特任教員2名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 学部長等業績評価について

* 資料3-1～3-3のとおり、学部長等業績評価について提案。

- 本学はこれまで組織人事委員会の新設、学長業績評価制度の導入、学長補佐体制の整備、学校教育法等改正に伴う学長と教授会等の権限の明確化及び内部規則の総点検・見直しといった様々な大学ガバナンス改革に取り組んできた。さらに学長のリーダーシップの下で大学の管理運営体制の強化を図り大学ガバナンス改革を推進するため、学部長等業績評価制度を導入するもの。
- 翌年度に学部長が代わる年度は、新しい学部長が決定する前に評価ができるよう、スケジュールを早めたほうがよいのではないか。
- 評価結果を学部長選考の参考とすることは現段階では考えていない。
- 評価の対象になるのは学部長本人の業績ではなく、学部の取組についてと考えていいか。
- 基本的には学部長本人の業績ではなく、中期計画・年度計画の当該部局に対応する部分に対してどのように学部をマネジメントしたかを中心にして評価する。
- 講演会の開催など、社会貢献とも教育とも考えられるものもある。4つの分野(教育・研究・社会貢献・管理運営)の振り分けが難しいものもあるのではないか。
- 年度計画と同じ考え方で、ウェイトを置いている分野に振り分ける。また部局間で違う分野に振り分けられないよう調整が必要な場合もあると思う。4月に学部長等と学長が面談し、分野ごとに目標を設定する。
- 規程に基づいて進めていき、その中で軌道修正していきたい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第4号 地域創生学群の定員増について

* 資料4のとおり、地域創生学群の定員増について提案。

- 地域創生学群は平成21年度に新設され、北九州市等と連携し様々な地域政策課題に取り組んできた。一方、近年では「地方創生」のもと国や地方自治体の政策に多くの関心が集まり、地方国立大学を中心に地域志向の学部等の新設が続いている。こうしたなかにあつて、同学群は設置以来、志願倍率が高倍率で推移している。このため、平成29年度より同学群(昼間枠)の定員を50名から80名に増加し、より多くの志願者を受け入れることで、地域社会へ貢献する人材育成をより一層推進したい。
- 夜間特別枠(定員40名)の志願状況はどうなっているのか。
- ここ数年、志願者は10名程度、入学者はその半分程度となっている。
- 夜間特別枠の定員の変更はしないのか。
- 現段階では考えていない。
- 定員を増やした場合の教室稼働のシミュレーションはしているのか。
- まだ詳しいシミュレーションはしていないが、対応可能であると考えている。
- 今後の手続きについて、前年度の12月31日までに文部科学省に届出を行うとなっている。届出期間について、問題はないのか。
- 届出の期間については文部科学省に確認済みである。
- スケジュールでは4月中旬以降に告知を始めるようになっている。変更については、2年前から告知をしないといけないのではないか。
- 志願者の不利益になることは2年前から告知しなければならないが、今回は不利益となるような変更ではないため、それにはあたらない。
- 定員増により、教員の過重負担となることはないのか。
- 教員増を含めた体制の変更を今後検討していく。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

第5号 各種委員会委員の選考について

* 資料5のとおり、各種委員会委員の選出について提案。

○ 各部局からの回答に基づいて各種委員会委員を選出した。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 障害者差別解消法の施行に伴う対応について、資料6-1～6-4のとおり報告があった。
- ② 大学院担当教員資格の審査結果について、資料7のとおり報告があった。
- ③ 平成27年度入試広報活動報告について、資料8のとおり報告があった。
- ④ 教員の海外出張について、資料9のとおり報告があった。
- ⑤ 次回の審議会を平成28年4月12日（火）に開催する予定である旨、報告があった。